

平成26年 2月

木村真司 学位論文審査要旨

主 査 深 田 美 香
副主査 神 崎 晋
同 花 木 啓 一

主論文

Gender differences in childhood food preference: Evaluation using a subjective picture choice method

(小児の食物嗜好の性差：主観的イラスト選択法による評価)

(著者：木村真司、遠藤有里、南前恵子、神崎晋、花木啓一)

平成26年 Pediatrics International 掲載予定

参考論文

1. 小児の食行動の特徴と肥満発症の関連－イラスト選択法と質問紙法を用いた食行動評価の試み－

(著者：木村真司、遠藤有里、南前恵子、鈴木康江、西村直子、谷本弘子、花木啓一)

平成23年 肥満研究 17巻 54頁～61頁

2. 小児の生活習慣病の早期発見：幼児の生活習慣アンケート

(著者：木村真司、花木啓一)

平成24年 小児生活習慣病ハンドブック 74頁～79頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、6～12歳の小児を対象に、イラスト画を小児自身に選択させる手法を用いて、小児期の食事への関心と食物の嗜好の特徴、特に性差について検討したものである。その結果、学童期の早期には食物嗜好の明らかな性差が認められたことから、小児肥満の食事指導に際しては性差を考慮した対応の必要性が示唆された。また、学童期小児は、高エネルギー、高脂肪、高飽和脂肪酸の食品を好んで選択し、低エネルギー食の代表とされる和食を選択することが少なかったことから、学童期小児に適切な指導がなされなければ、より高脂肪、高エネルギーの食品を摂取してしまうことが予想された。これまで明らかにされていなかった小児期の食事への関心と食物の嗜好の特徴を明らかにした本論文の内容は、明らかに学術水準を高めたものと認められる。